

令和3年度ネットリサーチ「就学前教育・家庭教育」に関するアンケート結果報告書

■結果のポイント

- 幼児教育施設で身に付ける必要があることについては、「あいさつ・返事」が81.5%で最も高く、次いで「ルール・約束を守ること」が68.6%、「友達と協力して仲良く遊ぶこと」が58.1%と続く。
- 家庭で小学校入学までに身に付ける必要があることについては、「あいさつ・返事」が80.1%で最も高く、次いで「衣類の着脱」が71.2%、「排泄」が70.4%と続く。
- 地域で家庭教育を支援するために効果的な取組については、「子育てに関する悩みについて気軽に相談できる人や場があること」が56.1%で最も高く、次いで「子どもと一緒に遊ぶ人や場があること」が48.5%と続く。

■調査結果の概要

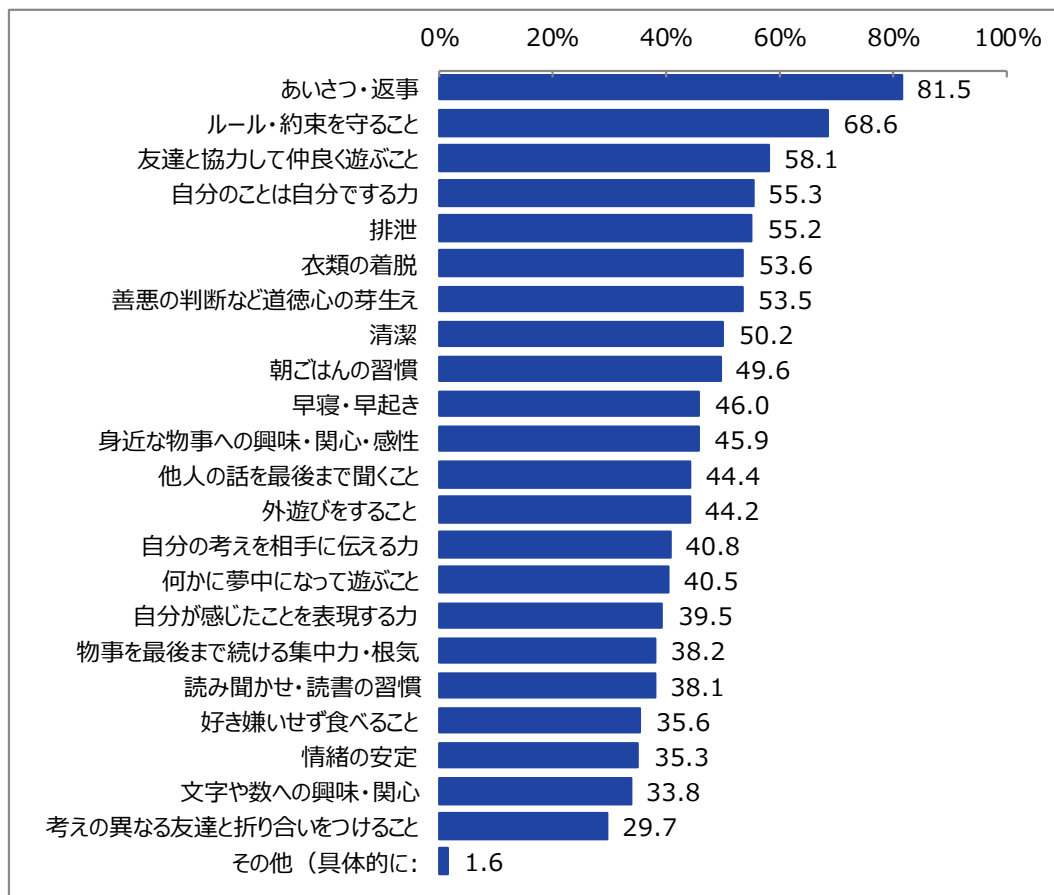
1 幼児教育施設で身に付ける必要があること

◇ 「あいさつ・返事」が81.5%で最も高く、次いで「ルール・約束を守ること」が68.6%、「友達と協力して仲良く遊ぶこと」が58.1%と続く。

Q1.幼児期に幼児教育施設（幼稚園・保育所・認定こども園等）で身に付ける必要があるのはどのようなことだと思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。

MA

	%	n
全体	100.0	1000
あいさつ・返事	81.5	815
ルール・約束を守ること	68.6	686
友達と協力して仲良く遊ぶこと	58.1	581
自分のことは自分でする力	55.3	553
排泄	55.2	552
衣類の着脱	53.6	536
善悪の判断など道德心の芽生え	53.5	535
清潔	50.2	502
朝ごはんの習慣	49.6	496
早寝・早起き	46.0	460
身近な物事への興味・関心・感性	45.9	459
他人の話を最後まで聞くこと	44.4	444
外遊びをすること	44.2	442
自分の考えを相手に伝える力	40.8	408
何かに夢中になって遊ぶこと	40.5	405
自分が感じたことを表現する力	39.5	395
物事を最後まで続ける集中力・根気	38.2	382
読み聞かせ・読書の習慣	38.1	381
好き嫌いせず食えること	35.6	356
情緒の安定	35.3	353
文字や数への興味・関心	33.8	338
考えの異なる友達と折り合いをつけること	29.7	297
その他（具体的に:	1.6	16



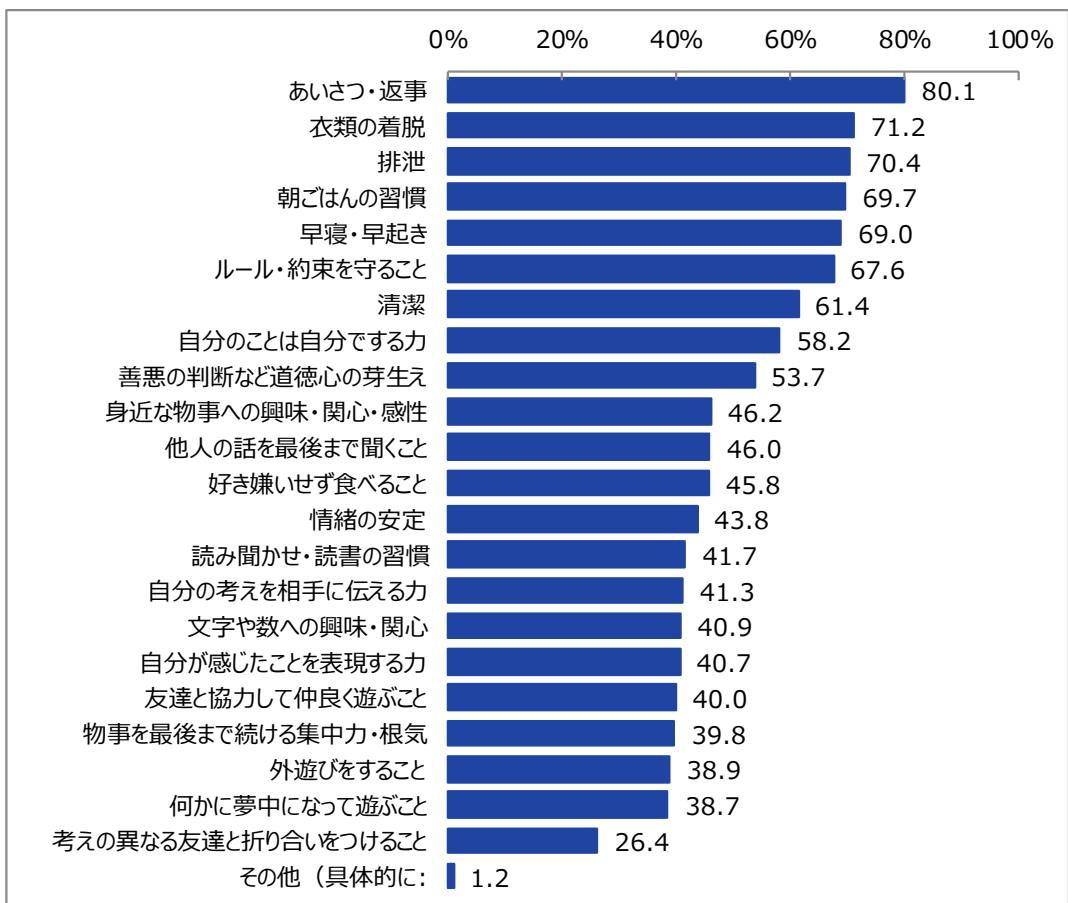
2 家庭で小学校入学までに身に付ける必要があること

☆ 「あいさつ・返事」が80.1%で最も高く、次いで「衣類の着脱」が71.2%、「排泄」が70.4%と続く。

Q2.幼児期に「家庭」での教育において、小学校入学までに身に付ける必要があるのはどのようなことだと思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。

MA

	%	n
全体	100.0	1000
あいさつ・返事	80.1	801
衣類の着脱	71.2	712
排泄	70.4	704
朝ごはんの習慣	69.7	697
早寝・早起き	69.0	690
ルール・約束を守ること	67.6	676
清潔	61.4	614
自分のことは自分でする力	58.2	582
善悪の判断など道徳心の芽生え	53.7	537
身近な物事への興味・関心・感性	46.2	462
他人の話を最後まで聞くこと	46.0	460
好き嫌いせず食べること	45.8	458
情緒の安定	43.8	438
読み聞かせ・読書の習慣	41.7	417
自分の考えを相手に伝える力	41.3	413
文字や数への興味・関心	40.9	409
自分が感じたことを表現する力	40.7	407
友達と協力して仲良く遊ぶこと	40.0	400
物事を最後まで続ける集中力・根気	39.8	398
外遊びをすること	38.9	389
何かに夢中になって遊ぶこと	38.7	387
考えの異なる友達と折り合いをつけること	26.4	264
その他（具体的に:	1.2	12



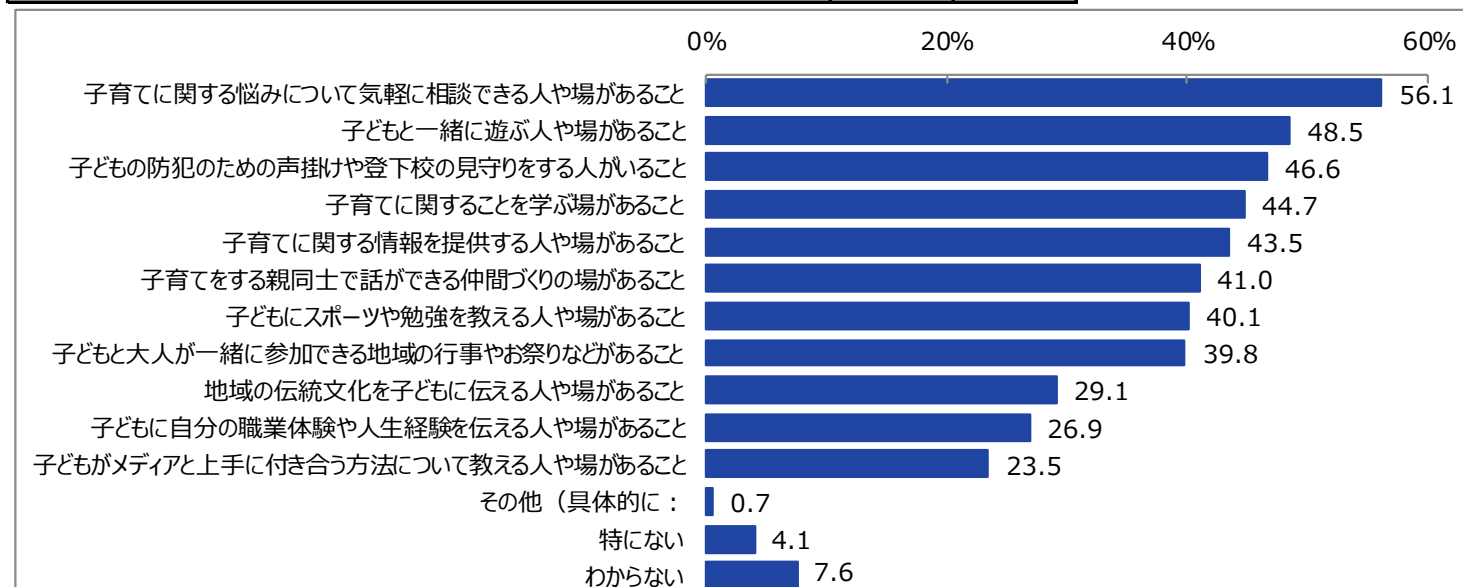
3 地域で家庭教育を支援するために効果的な取組

◇ 「子育てに関する悩みについて気軽に相談できる人や場があること」が 56.1%で最も高く、次いで「子どもと一緒に遊ぶ人や場があること」が 48.5%と続く。

Q3.地域で家庭教育（保護者が子どもに対して行う教育）を支援するために、どのような取組が効果的だと思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。

MA

	%	n
全体	100.0	1000
子育てに関する悩みについて気軽に相談できる人や場があること	56.1	561
子どもと一緒に遊ぶ人や場があること	48.5	485
子どもの防犯のための声掛けや登下校の見守りをする人がいること	46.6	466
子育てに関することを学ぶ場があること	44.7	447
子育てに関する情報を提供する人や場があること	43.5	435
子育てをする親同士で話ができる仲間づくりの場があること	41.0	410
子どもにスポーツや勉強を教える人や場があること	40.1	401
子どもと大人と一緒に参加できる地域の行事やお祭りなどがあること	39.8	398
地域の伝統文化を子どもに伝える人や場があること	29.1	291
子どもに自分の職業体験や人生経験を伝える人や場があること	26.9	269
子どもがメディアと上手に付き合う方法について教える人や場があること	23.5	235
その他（具体的に：	0.7	7
特にない	4.1	41
わからない	7.6	76



■調査の目的

本県の就学前教育・家庭教育における目標や幼児期に育ててほしい子どもの姿を示した茨城県就学前教育・家庭教育推進アクションプランの改定にあたり、県民の家庭教育に関する意識について把握、分析する。

■実施概要

- ・実施期間 令和3年7月9日～7月16日
- ・サンプル数 茨城県常住人口調査（令和3年4月1日現在）に基づく性別・年代・居住地（5地域）の割合で割り付けた18歳以上の県民1,000サンプル

回答者数（人）

		県北	県央	鹿行	県南	県西	計
全体		116	246	96	353	189	1,000
性別	男性	60	125	51	181	99	516
	女性	56	121	45	172	90	484
年代別	18～29歳	18	42	17	66	33	176
	30歳代	17	43	17	62	31	170
	40歳代	24	57	21	83	42	227
	50歳代	27	53	19	72	39	210
	60歳代	30	51	22	70	44	217

県北：日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、常陸大宮市、久慈郡

県央：水戸市、笠間市、ひたちなか市、那珂市、小美玉市、東茨城郡、那珂郡

鹿行：鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、鉾田市

県南：土浦市、石岡市、龍ヶ崎市、取手市、牛久市、つくば市、守谷市、稲敷市、かすみがうら市、つくばみらい市、稲敷郡、北相馬郡

県西：古河市、結城市、下妻市、常総市、筑西市、坂東市、桜川市、結城郡、猿島郡

(注)

1. 「ネットリサーチ」の回答者は、民間調査会社のインターネットリサーチモニターであり、無作為抽出された調査対象者ではない。
2. 割合を百分率で表示する場合は、小数点第2位を四捨五入した。四捨五入の結果、個々の比率の合計と全体を示す数値とが一致しないことがある。
3. 図表中の表記の語句は、短縮・簡略化している場合がある。